

米子市まちづくり活動支援交付金
事業報告会資料（平成25年度事業）

平成25年度 米子市まちづくり活動支援交付金申請事業一覧

コース	No.	団体名	申請事業の概要	事業形態	事業費総額 (円)	希望交付金額 (円)
		事業名				
ちよっこし活動コース	1	三本松二区明日へつなぐ会	年間を通して地区の公民館や公園を活用して交流事業を開催することで、ふれあう機会の少ない子供たちから高齢者までの地区住民及び隣接地域住民が絆や繋がりを深め、地区の活性化を図り、この事業を隣接地域に広め、次の若い世代につないでいく。	地域交流 世代間交流	109,108	77,000
		子供たちと高齢者の交流事業				
	2	ザ・スピリッツ	視覚障がい者の方と共に歌い、踊り、演奏を楽しむ事で交流を深める。また、障がい者の方のステージを見たり、介助を体験したり、お話をすることで、健常者の気付きにくい生活環境のバリアフリーを考えるきっかけをつくる。	障がい者支援 文化イベント	95,073	80,000
		第6回ジョイントコンサートin ふれあいの里				
	3	親和会	観音寺新町と戸上・観音寺の住民が、地区の歴史や地名「観音寺」の由来を学びながら散策できるように案内板を設置する。また、交流の場を整備することで、お互いに理解を深めあいながら、自分達の「ふる里観音寺」を創生する。	地域文化の継承 地域交流	100,000	80,000
ふる里創生事業						
4	多胎児サークル にこにこclub	ふたごの育児を体験した先輩パパの体験を伝え、これからふたごのパパになる人へ育児の参考にしてもらい、パパも一緒に育児をすることで、ママとともに明るく・楽しく・前向きに育児に関わっていただける冊子を作成する。	子育て支援	72,724	72,000	
	「ふたごパパの育児体験記」冊子作成					
5	尚徳和みのロード運営委員会	「法勝寺電車和みのロード」を多くの人が集い、和めるように整備し、案内看板を設置することで、法勝寺電車の果たしてきた役割や現在に至る変遷などの歴史を学び、地域の魅力を再発見することで、地域住民の絆を深め、活力あるまちづくりを行なう。	地域文化の継承 地域交流	80,000	80,000	
	法勝寺電車和みのロード事業					
がいな活動コース	6	米子いただきがいな隊	豊かな自然に育まれた米子市及び周辺の地域資源である「ご当地グルメ」を手段としたまちおこしとして、「食のみやご当地グルメフェスタIN米子」を開催することで、新しい観光客の誘致と集客の役割を果たし、地域経済の活性化を図る。	まちの賑わい創生 観光イベント	623,494	280,000
		食のみやご当地グルメフェスタIN米子				
	7	旧加茂川・寺町周辺のまちづくりを進める会	市民が協力して加茂川にかかる、およそ75本の橋と水面の写真をとり、冊子にまとめ発表する。その写真集を県内外の町づくり団体や観光関係者に配布し、広く加茂川の良さをPRして散策者を増やし、米子の観光の目玉とすることで賑わいを創り出す。	まちの賑わい創生 観光イベント	352,646	229,000
「加茂川にかかる橋」をテーマとする写真コンテスト事業						
8	就将の宝 散策の会	米子市陰田町の行者山の稜線にある、やまも自然林までの歩きやすい散策ルートを作り、案内板を設置し、「行者山散策」を実施し子供から高齢者にも利用できる里山をつくり、就将地区の優れた歴史と自然の活用を促進し、地域を活性化させる。	地域文化の継承 地域交流	401,340	220,000	
	花と緑と民話の里づくり事業					

子供たちと高齢者の交流事業

実施期間	平成25年5月4日～26年3月31日		
団体名	三本松二区明日へつなく会	代表者	家島 稔
団体の主な活動	子供たちと高齢者が地区住民及び隣接する地域住民との交流を通して親睦と地区の活性化を目的に、「こいのぼりを泳がせよう」「地蔵祭り」「収穫祭」「ひな祭り」なを行う。		
総事業費	109,108円	交付金額	77,000円

様式第8号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	三本松二区明日へつなぐ会
事業目的	子供たちと高齢者の交流事業
事業実施場所	三本松二区公民館及び立町公園
事業対象者	三本松二区々民及び近隣住民
事業概要	<p>1、こいのぼりを泳がせよう、(来場者・子供59名大人29名 計88名)</p> <p>数年前、町内の有志が自宅で揚げなくなった鯉のぼりを公園で揚げ子供たちに喜んでもらおうと始めたところ年々寄贈が増え今年度は32匹が元気よく泳ぎ、その下で遊ぶ子供の姿はいいですネとの声が聞かれました。6月1日は子供達の個性豊かなデザインのパペットボトルロケットを作り思いっきり遊びました。公民館では24畳の座敷いっぱい子供達と一緒にプラレールを敷き、トーマス号や鬼太郎列車等5つの車両を走らせ、幼児から高齢者まで楽しみました。板の間ではラジコンヘリ、ラジコンカーを操縦し大喜びの子供達でした。</p> <p>2、地蔵まつり(参加者・子供23名大人25名計48名)</p> <p>かつて火葬場であった立町北公園入口に「いわれ」のある二体のお地蔵様を大切に守っていく事の必要性を継承して行く為、子供会の夏祭りも兼ねて行いました。子供達はお年寄りの指導の下で自分たちで作った灯籠に灯りを入れお参りし、長老の方からお地蔵様の「いわれ」と「敬う事の大切さ」を聞きました。</p> <p>3、収穫祭(参加者・町内大人65名子供30名・町外大人22名子供13名計130名)</p> <p>収穫祭と名打って町内婦人部、子供会と協力して秋祭りを開催。日南町から新鮮野菜、新米の即売。町内外の方々による手芸品等のバザー、公園では各種ゲームのお楽しみ、公民館では幼児にアンパンマン、大人には米子城物語の紙芝居と盛り沢山の内容でした。イベントの最後に自転車野郎・加藤彰氏を迎え講演していただきました。多くの参加者の方に夢を持つ大切さ、一度しかない人生を大切に生きる事、世界中の素晴らしい人々との出会いなど貴重な体験談を話していただき感動の中で終了しました。</p> <p>4、ひな祭り(参加者・町内大人41名子供16名・町外大人36名子供20名計113名)</p> <p>鯉のぼりがあるならお雛さまもと、各家庭で眠っているひな人形を持寄りひな祭りを開催。それなら手作りお雛様も出展され賑やかな雛祭りになりました。見に来た子供や大人の人も一緒になってバルンアートで犬やウサギ等作ったり、折り紙でおひな様やふうせん、こま等作り遊びました。95才のおばあさんの折り紙での傘やコマ、すてきな小箱には皆さん感心されていました。年配の方は自分たちの小さい時のひな祭りの話とか親が苦労して市松人形を買ってくれて今でも大事にしている事など心温まる話でとても和やかな雛祭りでした。</p>
事業効果	<p>まず、これらの事業で交流することにより住民間の挨拶が増えたこと。老人会組織の無くなった町内ですが、4つの事業を通して高齢者の方から「外出する機会が増え久しぶりに昔話に花が咲いて良かったよ」との声が聞かれるようになり会員の励みになりました。又子供達と高齢者が同じ目的を持って実施することが出来た事。そして近隣住民の方をはじめ遠くは日南町、大山町、南部町、境港市等から「良かったよ、来年も又会いましょう」との声は大きな喜びでした。当初見込んでいました延べ参加人員は大幅に増え約400名近くでした。</p>
今後の取り組み 次年度以降、どのように継続して事業に取り組む、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりにいかしていくのか、具体的に記載してください。	<p>ひな祭りを終えアツと言う間の1年でした。新しい出会いと発見もありましたが、まだまだ交流できない方々も多く(自治会未加入者等の不参加)ありチラシ、ポスター等の活用を見直し、ポスティングと学校、校区自治会への広報を強化します。又婦人部や子供会等他組織との連携をより密にして地域住民の方々の声を聴き、より多くの子供と高齢者の交流が出来るようイベント毎の充実を図ります。26年度は昨年夏休みに実施した社会見学会を今後も継続してほしいという要望があり実施する事となり、子供達と高齢者の交流を図ります。今年度からは自治会長さんの計らいで事業予算を町内会議で了解を得る事が出来ました。又現会員の負担が多い為、さらに会員を募り幅広い意見集約に努め各事業に反映させて参ります。</p>

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	77,000	77,000	0	
自 己 資 金	18,000	18,908	908	年会費 1,200 円×15 人=18,000 円 臨時会費として 908 円
事 業 収 入	10,000	13,200	3,200	イベントの売り上げ
そ の 他				
合 計	105,000	109,108	4,108	

2 支出の部

(単位:円)

	科 目	予算額	決算額	増減	備考 (積算内訳)	
交付金対象経費	報 償 費	0				
	旅 費	0				
	需 用 費	87,000	93,184	6,184	① レクリエーション材料費 合計 65,096 円 (鯉のぼり関連で 38,836) (地蔵祭り関連で 12,240) (収穫祭関連で 9,991) (ひな祭り関連で 4,029) ② バザー材料費 収穫祭にて 14,158 円 ③ チラシ、ポスター作成費 4つの事業合計 13,930 円	
	役 務 費	0				
	委 託 費	0				
	使用料及び賃借料	0				
	そ の 他	0				
	小 計	87,000	93,184	6,184		
	その他の経費	お 茶 代	13,000	4,778	△8,222	和菓子、クッキー等
		景 品 代	5,000	4,287	△713	ゲームの景品代
謝 礼		0	6,859	6,859	収穫祭のイベントで加藤氏 への謝礼	
小 計		18,000	15,924	△2,076		
合 計	105,000	109,108	4,108			

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

第6回ジョイントコンサート in ふれあいの里

実施期間	平成25年9月1日～25年11月17日		
団体名	ザ・スピリッツ	代表者	中川 容子
団体の主な活動 ○視覚障がい者のための音訳活動（広報誌県政だより、広報よなご、市報さかいみなと、町報ゆりはま、北栄、米子市議会だより、選挙公報などの音訳）&録音確認&発想作業 ○録音図書制作（CD） ○1000人ウォーク、アクアスロン皆生大会等に積極的に参加 ○視覚障がい者の方々との交流 ○ジョイントコンサート開催 ○NHKきょうの健康、NHKきょうの料理を毎月自主制作（テープ）&希望者に配布			
総事業費	95,073円	交付金額	80,000円

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	第6回 ジョイントコンサート in ふれあいの里
事業目的	視覚障がい者と一般市民の方々が、共に歌い、踊り、演奏を楽しむ事で交流を深める。また、障がい者に方のステージを見たり、介助を体験したり、お話をすることで、健常者が普段気付きにくい生活環境のバリアフリーを考え、みんなが住み良い『まちづくり』とは何かと考えるきっかけをつくる。
事業実施場所	米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
事業の対象者	県内視覚障がい者・家族約40名、一般市民120名、メンバー40名 約200名
事業概要	<p>第1部</p> <p>ひまわり作業所の銭太鼓でオープニング ハーモニカ、クラリネット、ギター、ダンスと続き、ピンクピンクのオカリナ演奏(メンバーには倉吉市からの女性4名を含む)</p> <p>第2部</p> <p>大正琴演奏、詩吟、日本舞踊。歌は点字図書館職員のデュエット以外は視覚障がい者の方たち。クロマチックハーモニカ演奏、米子混声合唱団。</p> <p>最後は全員で『ふるさと』を合唱して幕を閉じましたが、客席からクロティックハーモニカの演奏を、マイクを通さないで聞きたいという要望があり、プログラムに無い演奏をするというハプニングがありました。</p> <p>今回、初参加の若い女性が、『せぶてんばあ』という歌を披露されました。これは終了してからわかったのですが、彼女は失明してから2年半ということでした。そのあまりの透明感ある歌声に魅了され、感涙された方も多くおられました。</p> <p>また、介助体験・ふれあいコーナーのお茶席も大好評で、予備のお菓子もすべて提供することになりました。</p> <p>参加した人たちでないと味わえない感動が、全員の胸一杯にひろがっただろうと確信します。来場いただいた皆さんに喜んでいただけたのが何よりでした。勿論来年も続けます。</p>
事業効果	<p>今回、初めての楽器演奏があり、たまたま客席と同じフロアでの演奏でもあり、不思議な音色に関心を示され「是非触れさせて欲しい」とのリクエストがあり交流が生まれ、会場に大変なごやかな空気が流れた。初参加の女性の歌を聞いた方が、「是非彼女の伴奏をさせて欲しい」と申し出があり、是非これは実現させたいと思っている。橋渡しするのめザ・スピリッツの役目である。</p>
今後の取り組み	<p>視覚障がい者の方で、今回初参加の方が2人あった。とても音楽センスの良い方で、今までどうしてお誘いしなかったかと申し訳無いほどだった。今までも点字の文章を出すなどしてPRをしてきたつもりでしたが、これからも積極的に呼びかけを行ない、新しい人たちを掘り起こしたいと思う。特に若い方には、明るく希望を失うことなく生きていただくためのお手伝いが出来ると思うと、ジョイントコンサートの果たす役割の大きさに意を強くし、継続することの使命感すら感じる。年々来場者も増え続けており、市民権を得るのもそう遠くないような気がする。益々発展していくと思うとワクワクしてくる。</p> <p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p>

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号 (第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80,000	80,000	0	ちょっこし活動コース 上限80,000円
自己資金	10,000	15,073	5,073	
事業収入				
その他				
合計	90,000	95,073	5,073	

2 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費				
	旅費	50,000	57,000	7,000	出演者交通費 個人 2,000円×11名=22,000円 グループ 5,000円×6団体 =30,000円
	需用費	20,000	18,073	△1,927	プログラム(点字用も含む) 4,940円 お茶席(介助体験・ふれあいコーナー) お茶 2,820円 お菓子 7,760円 看板用紙代 178円 コピー代 565円 封筒 210円 切手 1,600円
	役務費				
	委託料				
	使用料及び賃借料	20,000	20,000	0	音響・照明委託料
	その他				
	小計	90,000	95,073	5,073	
その他の経費					
	小計				
合計	90,000	95,073	5,073		

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

ふるさと創成事業

実施期間	平成25年9月1日～26年3月31日		
団体名	親和会	代表者	加藤 幹夫
団体の主な活動 観音寺新町と戸上・観音寺の住民がお互いに理解を深めあいながら自分達のふるさと観音寺を創成するため、懇親会、座談会、講習会、教養会、見学旅行、各種趣味の会、その他本会の目的を達成するため必要な事業を行っている。			
総事業費	100,000円	交付金額	80,000円

様式第8号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	ふる里創生事業	
事業目的	観音寺新町1~5丁目、戸上、観音寺の住民が、お互いに理解を深めながら自分たちの「新しいふる里」を創生する	
事業実施場所	観音寺公民館、観音寺公園、観音寺跡地(現 慈眼庵所在地)	
事業の対象者	旧観音寺村(現 観音寺新町・戸上・観音寺)住民	
事業概要	<p>1 ふる里の昔話を聴く会。学びつつ新旧住民の交流を広げた。</p> <p>2 観音寺跡地の樹木を伐採し、住民が集う場ができた。</p> <p>3 県指定保護文化財、十一面観音坐像の周知を図れた。</p> <p>4 観音寺公園に歴史案内板・ベンチ・遊具を設置できた。</p> <p>5 古道を整備し、散策の小路にした。</p>	
事業効果	<p>1 新町と旧村の住民がお互いに親睦を深めるきっかけが出来た</p> <p>2 新町の親子連れや小中学生が旧村に遊びに来やすくなった</p> <p>3 「さんさん会(ふる里創生の会)」を設立できた</p>	
今後の取り組み	<p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p> <p>新組織「さんさん会」を中心に次の事業を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の名所旧跡や新名所の周知・保護・活用 ・ 新町ビュースポット紹介等を通じて新しいふる里作り ・ 地域で行われる諸行事の紹介 ・ 城山・水道山登山道、観音寺連山縦走路、観音寺古道の整備 ・ 案内板や樹木名称等の版設置 <p>車尾校区民・米子市民の憩いの場作り。夢は広がりますが一步一步</p>	

様式第9号 (第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80.000	80.000	0	
自 己 資 金				
事 業 収 入				
そ の 他	20.000	20.000	0	寄付金(個人) 5.000円 ×4名
合 計	100.000	100.000	0	

2 支出の部 ※交付金対象経費の支出には領収書の写しが必要です。

(単位：円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報 償 費	3.000	3.000	0	ふる里の昔話を・・・ 講師 3.000円 ×1名
	旅 費				
	需 用 費	12.500	7.000	△5.500	回覧チラシ印刷 600枚×3回 4.000円 鉄杭20本購入 鋸 10本購入 3.000円
	役 務 費				
	委 託 料	84.500	90.000	5.500	立木伐採 30.000円 歴史案内板 60.000円
	使用料及び賃借料				
	そ の 他				
	小 計	100.000	100.000	0	
その他の経費					
	小 計				
	合 計	100.000	100.000	0	

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

「ふたごのパパの育児体験記」冊子作成

実施期間	平成25年9月1日～26年3月31日		
団体名	多胎児サークル にこにこ club	代表者	石井 宏美
団体の主な活動 名簿の作成、会報の発行、集会の開催、にこにこライブラリ（図書の貸し出し） フェイスブック、家庭訪問事業など			
総事業費	72,724円	交付金額	72,000円

様式第8号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	「ふたごのパパの育児体験記」冊子作成
事業目的	<p>○ふたごの育児を体験した先輩パパの育児体験記冊子を作成し、これからふたごのパパになる人へ育児の参考にしてもらおうとともに、ふたご育ての楽しさを伝える。</p> <p>○これからふたごのパパになる人が、前向きに子育てにかかわろうという意欲を高める。</p> <p>○ふたごのパパにどのように育児をしていったらよいか、その方法を知らせる。</p> <p>○ふたごのパパの育児参加を促すことで、ママの気持ちを支えるとともに、ふたごたちの健やかな成長につなぐ。</p>
事業実施場所	米子市保健センター、市内産婦人科医院、小児科医院、にこにこclub
事業の対象者	多胎児(ふたご・みつご)の父親とその家族、育児中の父母、家族
事業概要	<p>【事業の進行状況】</p> <p>○ふたごのパパの育児体験記内容検討(7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふたごが生まれるとわかったときの気持ち ・ママの妊娠中はどんなふうにか? ・ふたごが誕生した時の気持ち ・育児の方法 <p style="padding-left: 2em;">授乳、おむつ、入浴、ねかしつけ、おでかけ、遊び、ママとの接し方、仕事とのバランスなど</p> <p>○ふたごのパパへ原稿依頼(8月下旬)</p> <p>○原稿編集・カット依頼(14名分:11月~12月)</p> <p>○冊子印刷製本依頼(1月)</p> <p>○冊子完成(2月)</p> <p>○関係機関への設置、配布協力願い(2月~3月)</p> <p>○フェイスブックでの冊子の紹介(2月)</p> <p>○報道機関への情報提供。3月 日朝日新聞に記事が掲載される。</p> <p>【冊子について】</p> <p>○20代から50代までの計14名のパパの声が集まった。</p> <p>○育児への関わり方はそれぞれであるが、どのパパの声も子どもたちとママへの愛情が感じられた。</p> <p>○概して、家事育児に積極的、前向きなパパが多かった。これからのパパへのメッセージに家事育児への参加を促すコメントも多かった。</p> <p>○ふたごの育児は2倍大変だが、育児の楽しさも実感し、励ますコメントも置かった。</p> <p>○育児に関わりたくても関われない事情があることも踏まえ、自分なりの関わりを、と助言するコメントもあった。仕事と育児のバランスのとり方についての考え方を示すコメントもあった。</p>
事業効果	<p>【パパたちへふたご育児のノウハウを伝え、先輩パパからのエールを送る】</p> <p>○ふたごのパパたちがきたんなく、本音で原稿を書いてくださった。経験者の育児方法やどんなことを思ってきたかを知ることにより、とまどいが軽減され、前向きに育児にかかわれるようになる。○育児の方法を知ることによって余裕をもって育児ができる。パパたちが育児の楽しさを知ることができる。</p> <p>【ママたちへの支援】</p> <p>○パパと一緒に育児をしていくことでママが明るく前向きに育児に関われるよう</p>

	<p>になる。またパパたちの気持ちを知ることによってママたちの心強い支えとなると思う。</p> <p>【ふたごたちの健全な育ちを支援】</p> <p>○パパとママに愛情を持って育てられ、ふたごが健やかに育つ。</p> <p>【すべての子育てに関わる人たちへの参考資料】</p> <p>○ふたごに関わらず、子育て中のパパには共感できる内容となった。男性の育児参加を推進する一助になったと思う。</p>
<p>今後の取り組み</p> <p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p>	<p>次年度以降もふたごのパパとママになる人へ継続して冊子を配布し、前向き意欲的に育児に取り組み、具体的な育児の方法がわかり、育児の楽しさを知るパパを増やしていく。パパがママと一緒に育児をしていくことで、ママも元気になり、仲良く元気な家庭で子どもたちも健全に育つ。</p> <p>先輩パパとプレパパのつながりと交流の場を設けていく。インターネットで少しずつ内容を紹介し、全国的に見ても画期的な今回の取り組みを米子から発信し、全国のふたご家族の支援とする。</p>

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号 (第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80,000	72,000	△8,000	72,724 但し1,000円未満切捨て 72,000円
自己資金		724	724	
事業収入				
その他				
合計	80,000	72,724	△7,276	

2 支出の部

(単位:円)

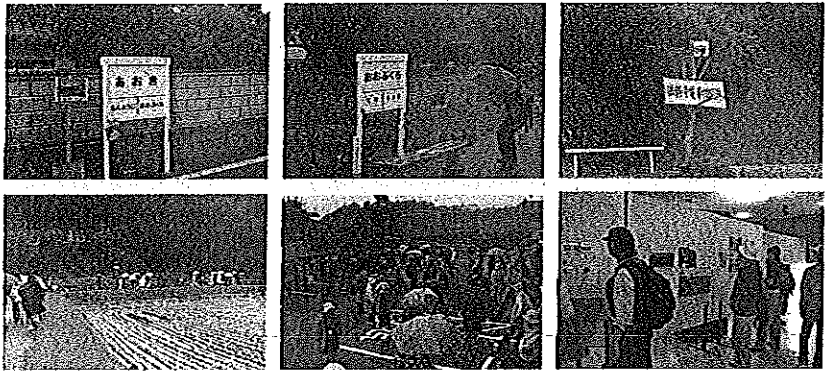
	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費	10,000	10,000	0	冊子への挿絵(カット)謝金
	旅費				
	需用費	5,000	1,244	△3,756	コピー用紙、封筒、
	役務費	10,000	6,480	△3,520	原稿依頼及び冊子発送のための郵送料 原稿依頼 51人×80円=4,080円 冊子発送 30か所×80円=2,400円
	委託料				
	使用料及び賃借料				
	その他	55,000	55,000	0	印刷製本費 110冊×500円
	小計	80,000	72,724	△7,276	
その他の経費					
	小計				
合計	80,000	72,724	△7,276		

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

法勝寺電車和みのロード事業

実施期間	平成25年8月1日～26年3月25日		
団体名	尚徳和みのロード運営委員会	代表者	田子良雄
団体の主な活動			
・花植栽事業の推進による地域住民世代間の交流			
・尚徳和みのロード沿いでの花の育成、管理			
・研修会、講演会の開催			
総事業費	80,000円	交付金額	80,000円

様式第9号 (第11条関係)

まちづくり活動支援交付金事業報告書	
事業名	法勝寺電車和みのロード事業
事業目的	「法勝寺電車和みのロード」を通して、地域の魅力の再発見につなげ、地域住民の絆を深め、活力あるまちづくりとするために法勝寺電車関係の駅案内看板等の設置を通し、法勝寺電車の果たしてきた役割、そしてどのような変遷をへて現在に至ったのか、などその歴史を学び、地域の魅力の再発見につなげ、より多くの人々がふれあい和めるロードにするために、事業を実施する。
事業実施場所	米子市榎原、大袋
事業の対象者	地域住民、一般
事業概要	<p>●法勝寺電車駅名標の設置(あおき駅、おおぶくろ駅) ●和みのベンチ設置 ●法勝寺電車沿線写真案内板作成、設置 ●法勝寺電車展示協力 ●法勝寺電車廃線ウォークの実施協力</p> <p>・実施日 平成25年10月5日(土) ・参加者 130名 ・協力内容 沿線解説、休憩接待、手打ちそば提供、地元特産品販売</p> 
事業効果	活動を通して、地域住民が今まで気づかなかった身近な地域の魅力、歴史を理解し、また、地域住民以外の人々とのふれあうことにより、地域の魅力のPR、再認識ができた。さらに、多くの人々が和めるロードが形成され地域の絆が深まる一助となった。
今後の取組 (次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。)	設置した看板を活用した地域探検、法勝寺電車の歴史、魅力を紹介する講座などを通して継続的な「法勝寺電車和みのロード」を活かした活動を行う。さらに、「和みのベンチ」の設置を通して、子どもの登下校時に、お年寄りが「和みのベンチ」に座り、前を通るこどもと何気ない会話を楽しみふれあいを深めるなど様々な活動を継続的に実施し地域の絆を深めていきたい。また、「法勝寺電車」のロードだけでなく、新出雲街道など地域に存するさまざまな「ロード」と付随する「地域の宝」を掘り起こし、地域全体に「和みのロード」を広め、地域の活性化を図っていきたい。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第10号(第11条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	80,000	80,000	0	まちづくり交付金
自己資金	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
その他	20,000	0	0	
合計	100,000	80,000	△20,000	

2 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費	0	0	0	
	旅費	0	0	0	
	需用費	0	6,500	6,500	写真案内板制作用材料代 ・ハレパネ @1,103円×2枚=2,206円 ・筋金入り紙紐 @1,512円×1ヶ=1,512円 ・ラミネート @2,142円×1箱=2,142円 ・看板用具代(木杭) @640円×1束= 640円
	役務費	0	0	0	
	委託料	100,000	73,500	△26,500	法勝寺電車駅名標2枚(あおき、おおぶくろ)設置委託料
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	小計	100,000	80,000	△20,000	
その他の経費					
	小計	0	0	0	
合計	100,000	80,000	△20,000		

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

食のみやこ ご当地グルメフェスタ I N米子

実施期間	平成25年4月24日～25年12月31日		
団体名	米子いただきますいな隊	代表者	松原 毅
団体の主な活動			
<ul style="list-style-type: none">・各地で行われるイベントへの出店・いただきますを販売する飲食店の開拓及び支援・新たな種類のいただきますの創作・地域活性化のための情報収集及び提供・地域活性化のための各種事業			
総事業費	623,494円	交付金額	280,000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書	
事業名	食のみやこ ご当地グルメフェスタ IN 米子
事業目的	米子市及び周辺の「ご当地グルメ」を手段としたまちおこしの理念のもと、「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子」を継続して開催し、新しい観光客の誘致と集客の入り口の役割を果たし地域経済の活性化を目的とする。
事業実施場所	米子コンベンションセンター前広場
事業の対象者	米子がいな祭り来場者のうち約1万人
事業概要	<p>「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子がいな祭り」イベントの開催</p> <p>事業実施のスケジュール 本年4月24日から2週に一度の割合で実行委員会開催し、「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子がいな祭り」イベントの準備に入る。 7月27日「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子がいな祭り」イベント実施。 今年度秋に米子市で開催予定の「米フェスタ」に事業協力をする。 12月31日で本事業完了。</p>
事業効果	「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子」を継続して開催することにより、新しい観光客の誘致と集客の入り口の役割を果たし地域経済の活性化の目的を達成することが期待される。
今後の取組 (次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。)	25年度以降、毎年「食のみやこご当地グルメフェスタ IN 米子」を継続して開催することにより、観光客の誘致を推進します。そして豊かな自然に育まれたこの米子市において「ご当地グルメ」を手段としたまちづくりの新しい波をつくっていきたいと考えています。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考（積算内訳）
市からの交付金	300,000	280,000	△20,000	(623,494-200,000)×2/3 =280,000 千円以下切捨て
自 己 資 金	170,000	143,494	△26,506	
事 業 収 入	200,000	200,000	0	
そ の 他				
合 計	670,000	623,494	△46,506	

2 支出の部

（単位：円）

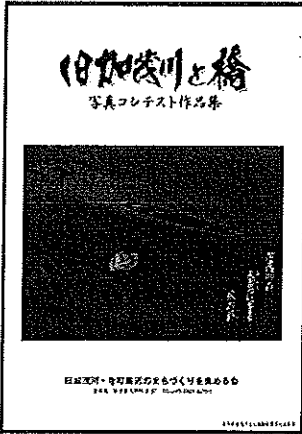
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考（積算内訳）
交付金対象経費	報 償 費				
	旅 費				
	需 用 費	200,000	144,900	△55,100	チラシ、ポスターの作成
	役 務 費	20,000	0	△20,000	
	委 託 料	350,000	284,812	△65,188	会場設営
	使用料及び賃借料	100,000	193,782	93,782	イベント等の会場使用料、 交通警備委託料
	そ の 他				
	小 計	670,000	623,494	△46,506	
その他の経費					
	小 計				
合 計	670,000	623,494	△46,506		

（注）交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

「加茂川にかかる橋」をテーマとする写真コンテスト

実施期間	平成25年8月1日～26年3月6日		
団体名	旧加茂川・寺町周辺のまちづくりを進める会	代表者	船越 清輔
<p>団体の主な活動</p> <p>① 「街なみ環境整備事業」のフォロー</p> <p>② 潤い豊かな街なみを形成するため、植樹緑化事業・花壇整備事業などに取組むとともに清掃等環境整備事業に努める。</p> <p>③ 歴史的行事である、地蔵盆、七夕祭り、桜祭り等を含め、市民に幅広くアピールするイベントを企画実行しまちづくりの機運をたかめる。</p> <p>④ 「下町かわら版」の定期発行によりまちづくり活動を会員はじめ県内外に広報する。</p> <p>⑤ 中心市街地活性化協議会、国交省夢街道ルネサンス等の会合に積極的に参加、又まちづくり先進地視察、ほかのまちづくり団体との交流を図り、自己研鑽を積むとともにまちづくりの輪を広げる。</p>			
総事業費	352,646円	交付金額	229,000円

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	「加茂川にかかる橋」をテーマとする写真コンテスト事業
事業目的	加茂川筋を米子の観光資源に育て上げる機運を高めること。 「加茂川広場」(立町二丁目)を有効活用すること。
事業実施場所	加茂川広場、文化ホール、加茂川沿道等
事業の対象者	市民全般、中・小学生
事業概要	<p>【写真コンテスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募期間 平成25年8月21日～11月5日 ・100点近い作品の応募があった。 ・審査結果 最優秀賞1 優秀賞2 奨励賞5 入選5 <p>【表彰式・展示会・講演会】</p> <p>日時 平成25年12月1日 13:00～15:50 展示会は11月28日～12月2日</p> <p>会場 米子市文化ホール 1階展示室・オープンスペース</p> <p>内容 表彰式及び作品の解説 「水面を生かした景観まちづくり」をテーマに講演会(2題)を開催。</p> <p>【写真集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載作品 85点 ・フルカラーA4版 16ページ ・1,000冊作成 
事業効果	写真を撮ること、写真集を見ることで加茂川筋に一層の関心が高まり、にぎわいが増すと同時に散策が市民の健康増進につながる。
今後の取り組み	<p>写真集の活用としては、県内外のまちづくり団体、観光業者に配布、広く加茂川沿いのよさをPRし、この地区のにぎわいを取りもどしたい。又写真集を参考とし、市内の子供を対象とした加茂川沿いの定期的散策を実施したい。(下町ガイドとタイアップ)</p> <p>今回は、夏から秋の加茂川の景色を対象としたコンテストですが、冬・春の景色をテーマとしたコンテストを開催し、四季の加茂川の写真集を作成したい。</p>

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号(第12条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
市からの交付金	231,000	229,000	△2,000	(352,646-8,453)×2/3=229,000 千円以下切捨て
自己資金	0	18,493	18,493	
事業収入	0	0	0	
その他	136,000	105,153	△30,847	寄附金
合計	367,000	352,646	△14,354	

2 支出の部

(単位:円)

	科目	予算額	決算額	増減	備考(積算内訳)
交付金対象経費	報償費	80,000	78,000	△2,000	研修講師3名 23,000円 審査委員 10,000円 発表者13名 45,000円
	旅費	34,000	34,400	400	講師交通費(羽田~米子) 34,400円
	需用費	203,000	202,613	△387	写真集 157,500円(157.5円×1,000冊) 切手 1,840円(80円×23) 表彰状 3,375円 筒 2,268円(12本) 画紙 1,470円(4ヶ) 台紙 840円 ポスター 10,000円(100円×100枚) コンテストチラシ 12,720円(1,000枚) チラシ 9,600円(9.6円×1,000枚) 記録用DVD・カバー 3,000円
	役務費				
	委託料				
	使用料及び賃借料	30,000	29,180	△820	文化ホール会場費 18,960円 会場案内板 220円 音響・映写機材リース代 10,000円
	その他				
	小計	347,000	344,193	△2,807	
その他の経費	弁当代	20,000	8,453	△11,547	講師食事代
	小計	20,000	8,453	△11,547	
	合計	367,000	352,646	△14,354	

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

花と緑と民話の里づくり事業

実施期間	平成25年8月1日～26年3月31日		
団体名	就将の宝 散策の会	代表者	福島 和枝
団体の主な活動 就将地区の歴史、地区の散策を楽しむための資料収集、解説資料作り、散策コース設定、案内役の依頼などを行う。			
総事業費	401,340円	交付金額	220,000円

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	花と緑と民話の里づくり事業
事業目的	米子市陰田町の行者山の稜線にある、ヤマモモ自然林までの歩きやすい散策ルートを作り、案内板を設置し、「行者山散策」を実施し子供から高齢者まで利用できる里山を作り、地域を活性化させる。
事業実施場所	米子市 陰田町 行者山
事業の対象者	地域住民・子供・米子市民 150人
事業概要	<p>●ルートの全長 約 900メートル</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、既存の道の整備。(スタート地点から第一展望台までの整備) 8月1日～10月20日 2、第一展望台から第二展望台までの整備。10月20日～12月25日 3、第二展望台から行者山頂上までの整備。2月10日～3月25日 4、標柱9か所の設置。3月1日～7日 5、誘導ロープの設置。3月12日～20日 6、案内板の設置。3月28日 7、足立氏による「講演会」と「雅楽演奏会」実施。 3月30日
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> 1、作業を進めるうちに地域の人にも関心が高まり、講演会の時には多くの地域の人に参加をいただいた。 2、案内板が設置されることにより、子供や高齢者並びに一般の方たちにも楽しく気軽に里山散策ができ、健康増進にも寄与できる。 3、第一展望台は城山を見下ろす位置にあり、そこから見る米子市街地そして遠く西方には島根半島。いま全国の注目の的になっているベタ踏み坂もはっきり見える。また、行者山山頂から東を見れば宝石山を見下ろし、その延長線上になだらかなすそ野を日本海側に張り出した雄大な大山を眺望することができ、訪れる人に必ず感動を与える。 4、尾根筋には県内では珍しいヤマモモの自然林やアオモジもあり、森林浴と合わせ植物観賞を楽しみながら散策できる。
今後の取り組み	<ol style="list-style-type: none"> 1、「公民館たより」「デゴネット」「中海放送」等を活用し、行者山の知名度を上げる活動をする。 2、定期的にルートの点検を実施する。 3、行者山からの下山道を整備する。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	予算額	決算額	増減	備考（積算内訳）
市からの交付金	220,000	220,000	0	385,940円×2/3 257,000円（但し1,000円以下切り捨て）交付決定金額のとおり
自己資金	28,000	121,140	93,140	
事業収入	0	10,200	10,200	300円×34人=10,200円
その他	82,000	50,000	△32,000	寄付金 10,000円×3人=30,000円 5,000円×4人=20,000円
合計	330,000	401,340	71,340	

2 支出の部

（単位：円）

	科目	予算額	決算額	増減	備考（積算内訳）
交付金対象経費	報償費	20,000	17,000	△3,000	講師料 7,000×2回 14,000円 指導料 3,000×1回 3,000円
	旅費	2,000	0	△2,000	
	需用費	83,000	131,520	48,520	・ガソリン代等 16,909円 ・標識ロープ、替刃代 11,561円 ・ハイステップ代 85,050円 ・標柱石材代 18,000円
	役務費	5,000	1,620	△3,380	保険料（レクレーション保険）
	委託料	153,000	158,500	5,500	・石彫代 24,000円 ・看板代 94,500円 ・パンフレット代 35,000円 ・社福バス借上げ代 5,000円
	使用料及び賃借料	67,000	87,500	20,500	・チェーンソー使用料 3,000×12回 36,000円 ・刈払機使用料 1,500×17回 25,500円 ・トラック使用料 1,000×10回 10,000円 ・賃借料 8,000×2名 16,000円
	その他				
	小計	330,000	396,140	66,140	
その他の経費	お茶、菓子代	0	5,200	5,200	・3月30日「講演会・雅楽演奏会」
	小計	0	5,200	5,200	
合計	330,000	401,340	71,340		

（注）交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。